

令和4年度 赤穂市学校(園)評価 外部報告書

学校園名	赤穂市立原小学校
------	----------

1 本年度の学校経営方針

現在、新型コロナウイルスの感染は収束の見通しがつかず、コロナとともに新たな生活様式や教育活動をつくりあげていくことが必要となっている。また、これからの社会は、グローバル化が一層進展し、ICTの急速な発達に加わり、変化が激しく予測困難な時代を迎える。これからの時代を生きる子供たちは、社会情勢の変化に主体的に対応し、夢や志の実現に向け、未来への道を自ら切り拓いていく力を身につけていくことが必要である。そのような力を育むことを目指し、学校教育目標を「夢や志を抱き、自ら道を切り拓いていく児童の育成」とする。

学校教育目標を達成していくために、次の3点を学校経営の基本方針とする。

①児童が夢や志を抱き、目標をもって意欲的に学ぶ学校づくり  
 ②教職員が、児童の指導や授業力の向上、学校運営の参画に達成感や有用感をもって取り組める学校づくり  
 ③コミュニティ・スクールとして、学校、家庭、地域が一体となった、安心・安全で地域とともにある学校づくり

2 本年度の学校重点目標

1 確かな学力の育成	6 家庭・地域との連携及び協働
2 豊かな心の育成	7 チーム学校による対応の充実
3 健やかな体の育成	
4 キャリア教育の推進	
5 特別支援教育の推進	

総合的な学校関係者評価

○評価ということではなく、希望として、また、コロナ後として記述します。  
 「他人に優しく、自分に強い子」、そして、「地域に、愛着と誇りを持つ子」に育てていただきたいと思ひます。都会でも、地方でも、しっかりと社会生活を送れる人になってほしい、できれば、地域に残り守っていく人になってほしいと思ひます。  
 ○少子高齢化が加速し、多くの地域で、学校統合の話が出てきていますが、原小学校が小規模校として全国や兵庫県でモデル校となるよう学校運営や行事や学習方法を工夫していただき、「小規模の良さ」としてアピールしていただければと思ひます。  
 そのためにも、原幼稚園をはじめ、有年中学校区の6校園所や地域との連携をより密にしていいただき、地域ぐるみの子育てや人育てにつながればと思ひます。  
 ○地域との連携は、自治会、老人会等に遠慮なく声を掛けていただければ、協力させていただきます。赤穂西小学校や尾崎小学校が表彰されたように、コミュニティスクールとして、原小学校を核とした地域づくりを目指せばと、希望しています。  
 参考までに「ありなし農園」と「原小太鼓」が始まった頃の状況を記述しておきます。  
 ○観点(重点目標)の1～6の目標値には、具体的な行動目標が示されている。この目標値の項目を各人が月に一度振り返って見て、反省することは反省し、改めて挑戦する前向きな考えと行動を期待する。リーダー(先生)は小さな事に気を配り、1つ1つの課題を(かかえ込むのでなく)相談し合い、情報共有しながら解決していってください。  
 ○たくさん工夫をして頂き、行事なども子ども達に体験させて頂き、ありがとうございます。学校だよりの発信も嬉しく思ひます。  
 ○今年も新型コロナウイルス感染症の関係で、学校等へ出向く機会は少なかった。学校通信を見ながら、子供の動きを知る程度であり、子供が運動場で大声を上げている様子をみたり、聞いたりして元気に頑張っているなあと感じている。  
 ○原小ならではの、小さいから余計に良い所がよくわかる、目立つ。また、その中において、人との関わり、やさしさ、思いやりが生まれる。地域性と同様に、学校-先生-PTA-家庭-我々とつながりを保ちながら原っ子、原人として守るべきものは守り、残すものは残し、頑張っていきたいと思ひます。  
 ○コロナ禍の為、思うように行事も出来ず、実践するのにも色々試行錯誤で大変だったと思ひます。マラソン大会を見学に行ったとき、走者がゴール間近に来た時の子供たちの声援、一緒にゴールまで走って応援している姿を見た時、胸にあついものを感じた。  
 ○放課後、1～6年が自然に混合してドッジボールをして遊んでいる姿をみた時、学年を超えた縦割り班での心温まる交流、これこそ、小規模校の良さを発揮した教育になっていると嬉しく思ひます。これからも継続して頂きたい。  
 ○令和4年度の学校評価、児童アンケートと保護者アンケートから見ると、目標に達成しているのではないかと。また、教職員アンケートも同様と思われます。先生方による努力の成果だと思ひます。

3 自己評価結果(A～D) A: 達成した B: ほぼ達成した C: あまり達成できなかった D: 達成できなかった

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

観点 (重点目標)	評価項目(学校・教師の取組)		評価資料	達成状況	改善の方策	自己評価は適切か	改善方法は適切か	課題と来年度具体的改善方法
	項目	指標						
1 確かな学力の育成	①一人一人の考えを大切に、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり	項目	児童が相互に学び合う場を数多く設定し、互いの考えや価値観を高め合えるよう授業の工夫をしているか。	アンケート	A	◎	◎	○最近ではネットを使用するからと、新聞を定期購読する人が減っているようですが、新聞は、紙面全体が見えるため、色々な情報が入ってきます。ネットだけでは、自分が求める情報しか入りません。新聞は、多くの社会情報等に接する方法だと思ひます。情報の入手方法として、子供新聞等も、教材の一つにならないでしょうか。自分から読みながら、読むことが出来ると思ひます。 ○個人それぞれの資質を引き出すべく先生達の指導等そのまま前向きに進めていってください。 ○朝の学習タイム、読書習慣などはこれからも継続していただきたい。 ○こども新聞などを活用して、先生が心に残った1週間のニュースなどを話して、社会の動きに興味をもてるようにしてはどうか？ ○児童アンケートP8のNo.2の項目による。評価が適切であると思ひます。 ○課題と改善方法については、普段の生活や授業を見ていないので省略します。
		指標	友達とともに学ぶ楽しさや価値を感じている。					
	②学習習慣や知識・技能の定着	項目	基礎学力の向上のために継続的な指導を行ったり、読書活動の推進を図ったりしているか。	アンケート・児童のノート・テストの結果				
		指標	該当学年の漢字や計算が定着している。進んで本を読もうとする態度が育っている。					
	③言語活動の充実	項目	物事の見方や考え方を深め、事象に対する自分の考えや思いを豊かに表現する力が育っているか。	アンケート・児童のノート・日記・文集・作文				
		指標	授業の学びを自分の言葉で伝えたり書き表したりすること、日記や作文で自分の思いや考えを表現したりすることができる。					
2 豊かな心の育成	①道徳教育・特別活動の充実	項目	児童が主体的に活動に取り組み、他者のために働くことの素晴らしさや充実感を味わうことができるように努めているか。また、自尊感情や思いやりの心を育てるように努めているか。	アンケート活動記録	A	◎	◎	○他人への配慮、思いやりをもち、心優しい原っ子へ皆さんが負いなく、自然に行えるように頑張ってください。
		指標	一人一人の児童が充実感・満足感を味わい、居場所のある学級経営ができています。					
	②自分も友達も大切に、共に生きる人権教育を全領域で推進	項目	児童一人一人の考えを尊重するとともに、児童がお互いの良さががんばりを認め合える授業を実践しているか。	アンケート・授業参観				
		指標	自分や友達の良いところに向け、互いに認め合ったり励まし合ったりしながら学習に取り組むことができる。					
	③合理的配慮のある特別支援教育の深化・充実	項目	合理的配慮の合意形成を行い、個に応じた支援を行うことができているか。	アンケート				
		指標	全ての児童が、学習する楽しさを味わったり、自己の成長を感じたりすることができている。					
3 健やかな体の育成	①体力・運動能力の向上を図る	項目	業間運動や一輪車運動・外遊び等を通して、体力・運動能力の向上を図っているか。	アンケート・児童の様子	B	○	◎	○身体の仕組み、薬、栄養素(ビタミン、ミネラル等も含め)等、それぞれの身体への働きと食事との関係について学習されていると思ひますが、保護者も含め、大切な体力づくりの基礎知識だと思ひます。 ○SNSの使い方として、「ネットへの掲載は、二度と消えない」「他人を誹謗中傷してはならない」等、講演会だけではなく、出席しない保護者に対しても、周知のための資料配付が必要だと思ひます。 ○給食についてのアンケートや意見交換もいいかもと思ひます。 ○休み時間など、よく外遊びを活発に行っていた様に思う ○自分にとって苦手な運動(鉄棒、なわとび、球技…)など1年間の目標をもって努力、挑戦する学習を取り入れてもらいたい。
		指標	外で元気に遊んだり、できる運動や技を増やそうと取り組んでいる。					
	②健康教育の推進	項目	「早寝・早起き・朝ごはん」の推進や給食指導・保健指導等の充実により、健康への意識や態度を高めているか。	アンケート・児童の様子				
		指標	「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、生活リズム・栄養バランス等を整えている。					
	③安全教育の推進	項目	防災について意識や能力を高め、緊急時に適切に対応できるよう計画的に防災教育を実施しているか。	アンケート・児童の様子				
		指標	地震や火事、津波などの災害時にどのように行動すればよいか知り、行動できる。					

4	主体的な態度の育成	①豊かな体験活動の充実	項目 学校が、地域の拠点としての役割を担うことができているか。	アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原小学校の伝統であり、特色ある活動である原小太鼓や米作り・野菜作り等の体験活動を実施方法を工夫しながら取り組んでいく。</li> <li>・原小太鼓については、計画的に練習し、保護者や地域の方に見ていただける場を設定する。</li> <li>・キャリア教育について、様々な教育活動の中で、学習する意味や将来の夢について考えられるようにする。</li> </ul>	◎ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域(有年orありなし)の日」として、有年の歴史や文化、地域の伝承等、地域の人材等を講師に、地域学習の時間をとることはできないでしょうか。小学生時代に、松岡秀夫先生に郷土史の話をしていただいたことが、地域活動に繋がっています。</li> <li>○「ありなし農園」として、田植え、稲刈り、餅つきの行事は平成2年から、「ありなし太鼓」は平成6年から始まっていますが、どちらも、PTAや地域の協力を得ることで、始めることができました。</li> <li>○原小ならではの活動である、農業体験、原小太鼓を外聘講師にもお世話になりながら引き続きよろしく願い致します。</li> <li>○原っ子ならではの地域性を生かした活動はともかく、各自にもう1ステップアップを上げて自意識をもたせてください。</li> <li>○学校だよりを毎月発行して頂き、学校生活がよく理解できてよかったです。</li> <li>○戦争を体験した地域の方々の生の声を聞く、昔ながらの伝承遊び、折り紙や野菜づくりなど地域の方々を招いての授業の再開を期待しています。</li> </ul>
		②グローバル化に対応した教育の充実	項目 郷土を愛する心を育てられるように、地域教材を生かした学習単元を設定し実践しているか。	アンケート				
		③各学年の発達段階に応じ、自分の生き方を考えるキャリア教育の推進	項目 自分の将来や仕事について考えるキャリア教育に取り組み、自立心を高めているか。	アンケート				
5	家庭・地域との連携	①家庭・地域・専門機関と連携した開発的生徒指導の推進	項目 あいさつや日常的な声かけなどを通して、児童と信頼関係を築けているか。また組織的な生徒指導体制を整え、規範意識の醸成・他者を思いやる心の育成に努めることができているか。	アンケート・児童観察	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方に向け、学校教育活動に興味をもってもらえるよう、学校だよりの配付、ホームページの充実を図る等、情報を発信していく。</li> <li>・オープンスクールを開催し、児童の様子を直に見ていただく場を計画する。</li> <li>・原幼稚園・有年保育所や有年中学校等と生き生きと学校生活が送れるよう、情報交換を適切に行っていく。</li> </ul>	◎ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ後は、「学校だより」「オープンスクール」等の情報発信だけでなく、「昔遊び」や地域学習等、地域住民が参加できる行事の検討をお願いします。</li> <li>○原幼稚園をはじめ、有年中学校区の6校園所や地域と連携した行事を行うことで、地域ぐるみでの子育てや人育てにつながるのはと思います。</li> <li>○地域との連携で表彰された赤穂西小学校や尾崎小学校のようにコミュニティスクールとして、原小学校を核とした地域づくりを目指せればと期待します。</li> <li>○地域の方もオープンスクールに来て頂けると思いますね。</li> <li>○学校通信を見ながら行事(参加した時)を振り返り、先生方のご苦勞を感じる。例)ありなし農園での稲の収穫作業等、大型機械(コンバイン)で行っていたが、ケガをしないかとか、子供自身からのお米に対する質問にも回答しなければならぬなど、大変気を遣われている様子がよく分かる。</li> <li>○コロナ禍にいろいろなまだ踏切りはあるが、少しずつ輪を広げていってもらえればと思います。</li> <li>○朝の挨拶は基本ですが、大きな声で挨拶してくれる子供達もいますが、挨拶をしても返ってこないことが多い(特に高学年)残念です。</li> </ul>
		②保幼小中との連携	項目 相互の発達段階を考慮した活動を行い、児童に自分の在り方について考える機会を設けているか。	アンケート・児童観察				
		③学校の取組の発信と学校評価	項目 学校は地域や保護者に学校教育方針や児童の活動の様子をわかりやすく伝えているか。また、学校に対する評価や要望に真摯に対応しているか。	アンケート				
6	学校運営	①人権を大切に作る学校づくり	項目 人権尊重の視点に立った環境づくりに努め、学校長を中心に、組織的に学校運営がなされているか。	アンケート・学校評価資料	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の学校評価等の結果を共通理解し、改善が必要な部分については、具体的な改善策を策定し、共通理解をして、取組を進めていく。</li> <li>・勤務時間については、超過勤務がなかなか減らない状況にある。児童と向き合う時間の確保と職員の仕事のワークライフバランスの実現に向け、検討を進めていく。その中で、行事や業務等の見直し・効率化を図っていく。変更点については、保護者等に丁寧な説明し、ご理解がいただけるようにする。</li> </ul>	◎ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○この3年間は、コロナ対策のため仕方なかったと思いますが、今後の「地域とともに歩む学校づくり」として、</li> <li>①学校運営委員が先生方の顔も名前も分からないということのないように、オープンスクールなどの行事に参加していきたいと思います。</li> <li>②「地域学習の日」等を企画していただき、講師を地域人材に任せることで、先生方の負担が少しでも減るように工夫できないかと思います。</li> <li>③学校や先生方の負担を減らせるように、地域やPTAに協力を仰ぐことで、学校教育の活性化や地域活動の活性化が図れるようにならないでしょうか。(PTAは保護者が行事を通じて、子育てについて学習する場、情報交換の場だと思います。)</li> <li>○地元原地に学校があり、24時間学校をながめていることが可能である。人間は働く時間が8時間/1日当たり、が最適だと感じている。常に夜遅くまで時には、休日出勤し、執務されているようだが、あまり無理しない方がよいと思ふ。超過勤務も理解できるが、教員同士の助け合いも必要？また、出勤が多いなら、赤穂市教育委員会と相談し、学校の課題として上層機関へ提案するべきではないでしょうか。</li> <li>○学校-PTA-地域と、この状態で連携を保ち、まず先生方の生活面(勤務)をもう少しスマートにして先生間のコミュニケーションを図っていただきたい。</li> <li>○教職員の勤務時間の適正化の実践は難しい様ですが、引き続き、行事や業務の見直しを図り、心身の健康管理に努めてもらいたいです。</li> </ul>
		②家庭・地域と共に歩む学校づくり	項目 開かれた学校づくりに努め、地域と共に歩んで行こうとする姿勢が見られるか。	アンケート・学校評価資料				
		③学校の組織力の向上	項目 学校教育目標の具現化に向け、課題と成果の共有化を図っているか。	アンケート・職員提案資料				
		④学校業務改善の推進	項目 校務の効率化を図り、勤務時間の適正化に努めているか。	記録簿				
		⑤教職員の資質向上	項目 他人の意見に耳を傾け、使命感と熱意を持ち、指導力・授業力を高めようと努めているか。	アンケート・研究授業・校内研修				

### 自己評価における特記事項

・本年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため、児童の活動・行事が制限されてきた。そのような中でも、小規模校のよさを生かし、感染拡大防止対策をした上で、できる限り通常に近い行事の開催など、原小ならではの活動を工夫してできたことがよかった。  
 ・学校のさまざまな課題について、チーム原小で迅速に課題解決に向け、取り組むことができた。

### 項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

<参考>  
 ○「ありなし農園」が始まったきっかけについて  
 兵庫県の「こころ豊かなひとづくり」の県民運動の一環として、平成元年度、2年度と続けて「ひょうごっ子 きょうだいづくり」の指定校となり、原小学校とPTAが中心となり、各地域団体を含めて「原小学校区実行委員会」を設立。校区全体に呼びかけて、家庭、地域、学校が一体となって、地域社会を明るく住みよいまちづくりをするために、「ふれあいの場」づくりの一つの行事として、北島富農組合の皆さんや老人会に協力していただいて始められた。田植え、稲刈り、餅つきが「ふれあいの農園(ありなし農園)」として続けられています。  
 ○原小太鼓(ありなし太鼓)は平成6年に大田直子先生が赴任されてから始められ、その年の運動会で6年生の児童により、初お披露目された。次の年の原田中遺跡のオープニングでも、古墳の上で演奏された。太鼓の台座を地域の方が自作したり、法被や備品類は資源ごみ収集の助成金で購入したりしていました。  
 ○先生方に申します。本当に原小ならではの活動の数々を工夫してもらい、やってきたことを感謝します。このまま頑張ってください。  
 ○コロナも大分収まってきているので、状況をみながらオープンスクールを開催していただきたい。  
 ○小規模の存続を願う。そのためには、原小ならではの教育活動を工夫し、地域密着型の学校であってほしいと思います。